秋田高校 同窓会だより Vol.103

AKITA HIGH SCHOOL alumni association news

町田同窓会長が逝去

6月10日に総会開催

●あの頃の思い出

「駅前校舎最後の卒業生」

交差点 ◎原嶋　茂氏

エッセイ ◎三島 和夫氏

ズームアップ ◎冨岡 浩子氏、大友 俊氏

秋高NOW ◎卓球部、放送委員会

また笑顔で

4月5日の始業式朝、春休みを終えて登校する生徒たち。上の写真は、桜が開花した母校＝いずれも同窓会事務局の東海林玲子さん（昭和54卒）撮影

秋田県立秋田高等学校　●学校創立　明治6年（1873年）9月1日
●卒業生総数／38,373人（旧制中学7,080人、新制高校31,293人）　●在籍生徒数／822人（男子445人、女子377人）
●同窓会員数／38,843人　●物故者／9,471人　●現会員数／29,148人　［平成30年4月10日現在］
●ホームページ　http://akitahs-doso.jp　●E-mail　aki-doso@cna.ne.jp

町田会長、志半ばで逝く
三浦副会長が会長代行に

秋田高校同窓会第10代会長の町田睿氏が平成30年1月30日、自宅のある千葉県柏市の病院で逝去されました。享年79。心からお悔やみ申し上げます。

町田会長は平成26年6月に同窓会長に就任し、29年6月の総会で再選され2期目に突入したばかりでした。会長在任3年7カ月。会長就任のあいさつでは、「郷土秋田の再生のために同窓会としても積極的に関わりたい」と述べ、郷土創生特別委員会を新たに立ち上げるなど指導力を発揮されました。

町田会長は秋田高（昭和31卒）―東大法学部卒業後、富士銀行（現みずほ銀行）に入行。常務取締役などを経て荘内銀行頭取に就き、北都、荘内両行の経営統合に伴い発足した持ち株会社フィデアホールディングスの取締役会議長に就任されました。死去当時は同ホールディングス相談役、北都銀行会長でした。平成24年から2年間は、山形県酒田市の東北公益文科大の学長を務められました。

町田会長の死去に伴い、三浦廣巳副会長（昭和44卒）が会長代行を務めることになりました。「副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは会長が欠けたときは、会長があらかじめ定めた順序により、その職務を代行する」との同窓会会則にのっとり、町田会長が生前、万一の場合は6人いる副会長のうち三浦副会長にお願いするよう明確に指示していたためです。

なお歴代同窓会長で、現職で亡くなられたのは第5代会長の内藤庸男氏（昭和59年9月死去）、第8代会長の辻兵吉氏（平成20年7月死去）に次いで3人目となります。あらためてご冥福をお祈りいたします。

故町田睿会長のご逝去を悼み、謹んでお悔やみ申し上げます。

経営者として、日本社会や地域への熱い思いと情熱を持ったリーダーとして、多方面にわたり行動し、発信されてきた町田会長のご逝去は残念でなりません。

荘内銀行頭取時代、当時の酒田商工会議所・新田会頭との連携で地域の活性化にかけた情熱と活躍ぶりは、秋田にいる私の気持ちを揺さぶり続けてまいりました。その後、フィデアホールディングス設立とともに故郷秋田に帰ってこられました。早くお目にかかって教えをいただきたいと切に願っておりました。お忙しい中、若手経営者の勉強会に快く出席いただき、講演をしていただきました。少子高齢化と人口減少が進む郷土秋田から大きな変革を始めなければならない、と喝破しておられました。謦咳（けいがい）に接し、私たちにとって、どれほど大きな力となったか計りしれません。

そうした中、秋田高校同窓会会長に就任され、新たな同窓会の在り方に着手されました。中でも国際化の進む現在、実際の経験を生徒にさせたいというお気持ちで、タイ王国の高校との交流事業を実施されました。生徒たちにとって、直接異文化に触れて英語で交流するということは大きな経験であり、多感な時代の驚きが彼らの将来にどんなにか好影響をあたえるか知れません。また、同窓会としては初めての試みである、郷土創生特別委員会を立ち上げ、「秋田高校同窓会はその持てる力を故郷秋田の創生に資するべし」との理念に基づいてスタート致しました。

ご生前中のご指導に心から感謝申し上げ、頂いた数々のお教えを心に刻み、行動してまいる所存です。

心からの感謝の意を表し、ご冥福をお祈りいたします。ありがとうございました。

合掌

（副会長・三浦 廣巳）

町田先輩、さようなら

三浦副会長（右）と笑顔で並ぶ、在りし日の町田会長

天上天下
TENJO TENGE

母校の校舎は、幾多の変遷をたどって現在に至っている。終戦後、それまで手形にあった校舎は進駐軍に接収され、その校舎はあろうことか進駐軍の不始末で全焼してしまう。校舎がなく、小学校での分散授業を余儀なくされた時期もある▼秋田駅前の旧兵舎を仮校舎とした後、駅前校舎本館が完成したのは昭和23年2月だった。先輩たちの喜びはいかばかりだったろう。37年春に現在地に移転するまでの14年間、木造の駅前校舎は多くの思い出を刻んだ▼町田睿さんも駅前校舎に通った一人である。通ったというより、「秋高の敷地で生活した」と言った方が正確かもしれない。何せ父親が秋田高の教師であり、敷地内にある教員住宅で家族が生活していたから、昼食も家で食べていたとか。当時の校舎への思い入れは人一倍強かったのではないか▼母校、そして故郷への思い入れも人一倍強かった。昨年の同窓会総会でのあいさつが今も耳に残る。「有名大学進学を競う時代から、地域が必要とする人材育成に力を入れる時代になった」。「教育とは何か」との根源的な問い掛けに思える。本当に惜しい大先輩を失った。

本年9月、名簿第41号を発行！

創立145周年の節目を迎え、「同窓会員名簿」第41号を今年9月、5年ぶりに発行いたします。価格は一冊4、320円。発行冊数は注文分限定となっておりますので、同封いたしました申込書にて、ご注文をいただきますよう、お願いいたします。

注文申し込み、協賛広告受け付け中！

併せて、協賛広告受け付中です。広告出稿いただける方は、事務局までお願いします。

平成30年度 総会開催は6月10日

平成30年度の通常総会を、先の通り開催いたします。

総会後の懇親会に「出席」で申し込みながら、欠席する場合、総会の2日前まで事務局に必ずご連絡ください。連絡がない方には、後日、会費分をご負担願いますのでご了承ください。

□日　　時　平成30年6月10日（日）
□場　　所　秋田ビューホテル
　　秋田市中通2丁目6－1　電話 018-832-1111
□総　　会　14:00
　　議題　平成29年度 決算・事業報告
　　平成30年度 予算・事業計画ほか
□記念講演　15:30
　　講師　渡部 徹JOC強化第二部副部長(S56卒)
　　演題　「東京2020オリンピック・パラリンピック招致活動を振り返る」
□懇 親 会　16:40
　　※会費 5,000円　当日会場でいただきます。
□申し込み　ご出席の方は、同封のはがきに必要事項をご記入の上、62円切手を貼り、5月31日までに同窓会事務局にお送りください。FAX、メールでのお申し込みも可能です。

［同窓会事務局］　F A X　018-832-9588
　　Eメール　aki-doso@cna.ne.jp

※尚、当日は午前11時より、同上の会場にて支部長会議を開催いたします。

今春の進路状況

東大に6人増の13人、東北大28人、北大8人

この3月には7クラス263人の3年生が卒業しました。全員が進学希望で、センター試験は262人が受験しました。このうち、国公立管外大学の合格者は140人で、昨年度より2人少なくなりました。

大学別では、東京大学は現役が7人、過卒が6人で合計13人（昨年比＋6）でした。現役合格者数は東北地区で仙台二高に次いで第2位でした。秋田大学の医学部医学科には現役で9人（昨年比△6）、過卒で6人、合計15人が合格しました。

他の国立大学では、現役と過卒を合わせて、北海道大学8人（△3）、一橋大学4人（＋3）、東北大学28人（△10）が合格しました。

医学部医学科には延べで36人（△8）が合格、そのうち国公立大学は21人（△14）でした。内訳は秋田大学15人、東北大学1人、筑波大学2人、東京医科歯科大学1人、富山大学2人でした。

私立大学は現浪延べで204人が合格しました。最も合格者が多かったのは明治大学で18人（△2）、次いで早稲田大学13人（＋3）、東京理科大学13人（△1）でした。

慶應義塾大学は10人（±0）でした。私大全体の合格者数は延べで、現役87人（△4）、過卒117人（△4）でした。私立大学に関しては昨年と大きな変動はありません。

3年生全体に対する合格率は68・1％（昨年66・9％）でした。秋田高校では高い志を掲げそれを最後まで諦めずに努力することを目標に進路指導を行っております。今年度も多くの生徒がこの目標のもと大きな頑張りを見せてくれました。この後も生徒の第一志望達成のため、教職員一同で支援していきたいと思います。

（秋田高校進路指導部）

大学合格状況一覧　平成30年3月23日現在

国公立管外大

大学名	現役	過卒	計
小樽商大	1	0	1
北海道大	4	4	8
弘前大	3	0	3
岩手大	9	4	13
東北大	21	7	28
宮城教育大	2	1	3
秋田大	27	9	36
山形大	0	2	2
茨城大	2	1	3
筑波大	3	3	6
宇都宮大	2	2	4
埼玉大	3	0	3
千葉大	5	3	8
東京海洋大	1	0	1
お茶の水女子大	1	0	1
電気通信大	1	2	3
東京大	7	6	13
東京医歯大	1	0	1
東京外大	1	0	1
東京学芸大	3	2	5
東京工業大	1	0	1
東京農工大	0	2	2
一橋大	3	1	4
横浜国立大	1	0	1
新潟大	19	7	26
富山大	2	1	3
金沢大	1	0	1
信州大	1	0	1
静岡大	0	1	1
三重大	1	0	1
京都大	0	1	1
大阪大	1	0	1
神戸大	1	0	1
奈良教育大	0	1	1
岡山大	0	1	1
広島大	0	1	1
香川大	1	0	1
長崎大	0	1	1
鹿児島大	0	1	1
国際教養大	5	0	5
高崎経大	1	1	2
首都大東京	2	0	2
横浜市立大	1	0	1
新潟県立大	0	1	1
都留文科大	1	0	1
気象大学校	1	0	1
国公立管外大計	140	66	206

私立大

大学名	現役	過卒	計	大学名	現役	過卒	計
北海道医療大	0	1	1	東海大	3	4	7
北海道科学大	0	1	1	東京医大	1	3	4
酪農学園大	0	1	1	東京女子大	1	0	1
青森大	1	0	1	東京女子体育大	1	0	1
岩手医大	1	2	3	東京造形大	1	0	1
東北学院大	2	0	2	東京農大	0	2	2
東北工大	0	1	1	東京薬大	0	1	1
東北福祉大	2	1	3	東京理大	6	7	13
東北医薬大	1	4	5	東邦大	0	1	1
ノースアジア大	1	0	1	東洋大	4	8	12
日赤秋田看護大	1	0	1	日本大	3	8	11
いわき明星大	0	1	1	日本獣医生命大	1	0	1
奥羽大	0	1	1	日本女子大	1	0	1
つくば国際大	1	0	1	日本体育大	2	0	2
国際医療福祉大	0	1	1	法政大	4	5	9
自治医大	0	1	1	武蔵野大	1	0	1
日本医療科学大	1	0	1	明治大	8	10	18
神田外語大	1	0	1	明治学院大	1	5	6
帝京平成大	1	0	1	明治薬大	1	2	3
東京歯大	0	1	1	立教大	1	2	3
青山学院大	2	2	4	早稲田大	5	8	13
学習院大	1	2	3	神奈川大	2	1	3
北里大	2	3	5	新潟医療福祉大	1	0	1
国立音大	1	0	1	朝日大	0	1	1
慶應義塾大	4	6	10	岐阜医療科学大	1	0	1
国学院大	0	1	1	京都薬大	0	1	1
駒澤大	2	0	2	同志社大	3	1	4
芝浦工大	0	4	4	立命館大	0	1	1
順天堂大	1	2	3	龍谷大	1	0	1
上智大	0	1	1	大阪薬大	0	1	1
専修大	2	0	2	近畿大	0	1	1
大東文化大	2	0	2	関西学院大	1	0	1
中央大	2	5	7	岡山理大	0	1	1
帝京大	1	1	2	私立大計	87	117	204

医学部医学科

大学名	現役	過卒	計
秋田大	9	6	15
東北大	1	0	1
東京医科歯科大	1	0	1
富山大	1	1	2
筑波大	0	2	2
岩手医大	0	2	2
東北医科薬科大	1	2	3
自治医科大	0	1	1
慶応大	0	1	1
東京医大	1	3	4
順天堂大	1	1	2
東海大	0	2	2
医学部医学科計	15	21	36

交差点

算額見学で同級生を驚かす

歴史作家　原嶋　茂（昭和47卒）

肩書に歴史作家と書くのは、少々気が引ける。100歳まで現役を続けられたら、堂々と言える日が来るかもしれないが（笑）。

私は、おそらく秋高最後のバンカラ（硬派学生）世代だ。弁当は早めし用で、学食にも行った。授業はよくさぼって、野球の応援にも行ったが、小体育館で卓球ばかりしていた。放課後は、何度取り上げられてもトランプ（ナポレオン）に熱中していた。そんな私でも、3年生のときの校長の退職の言葉「汝、何の為に其処に在り哉」には衝撃を受けた。その日から自分のレゾンデートル（存在理由）探しが始まった。

熊野神社の算額を見学した同級生たちと

作家でエンジニア

小説家になろうと、ようやく決心したのは、大学の工学部2年のときだ。しかし、技術者の道を突っ走っていた慣性力に逆らうのは大変だった。結局、社員のほとんどが技術者という日本電装株式会社（現在のデンソー）に就職し、60歳まで技術者として懸命に働いた。働いていた愛知県に今も住んでいる。

それでも、37歳のときに念願の小説家としてデビューすることはできた。二足のワラジとはほど遠かったが。

愛知の自宅の書斎にて

小説の題材は〝和算〟

私が書く題材は、和算（江戸時代の数学）である。ルーツは中国や朝鮮半島から伝わってきた数学だが、日本で独特の発達をした。日本人は読み書きやそろばんができたので、高度な数学を趣味とする人がたくさんいた。数学書もたくさん出版された。ほとんどが漢文で、関孝和が発明した代数法によって、数式も縦書きである。

和算で最も有名なのは算額だろう。自ら考案した難しい問題とその解答を大きな板に書いて、神社仏閣に奉納した数学の絵馬である。一種の研究発表だ。今でも発見されることがあり、全国に1000近く残っているようだ。それらを見ると、武士だけでなく、一般庶民から農民にいたるまで夢中になっていたことが分かる。

秋田は心のふるさと

18年間暮らした秋田県は、私にとって、心のふるさとである。同級生に会うため毎年のようにやって来るが、当時は転校を繰り返したので県内を回ることになる。

実は、秋田県にも算額がある。ただし、ふだんは見られないので、私は取材を申し込む。2014年には、卒業した中学校に近い由利本荘市の住吉神社、2017年には、卒業した小学校に近い角館の熊野神社の算額を、同級生を誘って一緒に見学した。初めて算額を見た同級生の驚く顔を見るのは楽しいものだ。

Profile

はらしま・しげる／筆名：鳴海風（なるみ・ふう）。日本文藝家協会会員。東北大学大学院機械工学専攻修了。自動車部品メーカーで生産技術者として働きながら、「円周率を計算した男」で第16回歴史文学賞を受賞し作家デビュー。2006年日本数学会出版賞。2017年には『円周率の謎を追う』が読書感想文全国コンクールの課題図書に選定された。歴史書からモノづくりの本まで、著書多数。講演も得意。愛知県美浜町住。

#razarte
GOOD DESIGN AWARD

代表取締役 山本久博（昭和45年卒）
〒010-0875 秋田市千秋明徳町2-74
MODE STUDIO Q

小児科 アルレギー科 禁煙外来 澤口医院
院長 澤口 博（昭和45年卒）
018-865-3311
秋田市八橋三和町14-6

EPOCH TOTAL ADVERTISING & MARKETING PROMOTION
COMMUNICATION & PRODUCE
株式会社 エポックコミュニケーションズ
代表取締役 大久保 利彦（昭和45年卒）
〒010-0942 秋田市川尻大川町4-7
TEL.018-863-8637
http://www.epochcom.co.jp

乗物でしあわせ増す
AKITA SUZUKI 株式会社 秋田スズキ
代表取締役社長 石黒 寿佐夫（昭和45年卒）
専務取締役 石黒 佐太朗（平成9年卒）
株式会社 秋田スズキ
〒010-0967 秋田市高陽幸町16番16号
TEL:018-823-4211 FAX:018-864-5218
http://sj-akita.jp/

同窓会入会式

平成30年2月28日、母校体育館で同窓会入会式が開かれた。新たに入会したのは翌日に卒業式を控えた3年生263人である。

三浦廣巳副会長

式では三浦廣巳副会長があいさつに立ち「これから辛いこと、苦しいこと、困難なことに遭遇する場合もあるだろうが、困難なことこそみなさんを成長させる大きな力になる。また、辛い時、苦しい時にこそ同窓会の会員は、みなさんを応援しエールを送ってくれる。同窓会のネットワークを有効に生かしながら、みなさんも将来、後輩のために手を差し伸べてほしい。

3年間の高校生活をインセンティブとして、故郷秋田のため、祖国日本のために、国際人として活躍することを期待する」と新入会員にはなむけの言葉を贈った。

続いて平成14年卒業で、26歳の時、東京の大手持株会社を退職し、秋田で「ノリット・ジャポン株式会社」を立ち上げた菅原久典さんが、新入会員に激励の言葉を贈った。

菅原さんは「今の時代、何が正しく、何が美しく、何が大切なのか、自分の中で大きな判断基準を持っていないと、ぶれてしまう。秋田高校で得た知識に加え、大学や社会での経験で、自分の中に大きな判断基準の幹を育ててほしい。

自分は『秋田のために何ができるだろうか』『秋田だからできるものは何だろうか』という視点で、現在、食の事業を展開している。

将来、みなさんの中から、秋田で会社を起こし『秋田だからできるもの』を一緒にやれる人が出てくれれば良いと思う。秋田に戻って来なくても、世界に羽ばたいて、秋田と連携してビジネスができるような人が1人でもいれば、秋田はもっと面白くなると思う。

自分は、高校の3年間の友人や先輩が、困った時、嬉しい時、一緒に苦しみや喜びを分かち合える本当の意味での仲間だと痛感している。みなさんは、今近くにいる人を大切にして巣立ってください」と話し、新入会員にエールを送った。

その後、同窓会の中村順子副会長から記念品を受け取った新入会員代表の高橋萌奈美さんが「各界でご活躍される先輩が大勢いらっしゃる秋田高校同窓会の一員になることに強い責任を感じています。将来、上の世代の支えとなり、かつ、次の世代を牽引していくために誇りを持ちつつも謙虚に素直に学び続けていきます」と感謝の言葉を述べた。

そして最後に、昭和45年卒業で、応援団OB・紫紺の会の鈴木明夫さんのエールで、全員が校友会歌を歌い、263人の入会を祝った。

高橋萌奈美さん

菅原久典さん

平成30年度　秋田高校教職員人事異動

退職		再任用
教　諭	伊藤則和	本荘高校教諭
教　諭	立花秀子	
主幹(兼)事務長	大友　聡	栗田支援学校事務長
技能主任	高橋直人	秋田高校技能技師

転出		転出先
副校長	佐々木英憲	西目高校校長
教育専門監	伊藤　匡	高校教育課指導主事
教　諭	松田　聡	金足農業高校教頭
教　諭	牛丸靖浩	高校教育課管理主事
教　諭	藤田　理	大曲高校教諭
教　諭	浦　伸之	秋田中央高校教諭
教　諭	長岐孝一	秋田西高校教諭
教　諭	関口　収	男鹿海洋高校教諭
事務長補佐	田村和朗	教職員給与課副主幹
技能主任	長澤健三	秋田明徳館高校技能主任
非常勤講師	鎌田　聡	秋田商業・御所野学院非常勤講師
非常勤講師	佐藤博子	

新採用		赴任先
臨時講師	岸　嘉之	能代高校教諭
臨時講師	石郷岡佐希子	都立足立東高校教諭

転入		転入元
副校長	柘植敏朗	五城目高校教頭
教　諭	塚田　博	新屋高校教諭
教　諭	池田孝幸	秋田商業高校教諭
教　諭	草階健樹	文科省派遣　教諭
教　諭	角崎綾子	五城目高校教諭
教　諭	菅野　愛	五城目高校教諭
教　諭	村越裕悦	横手高校教諭
教　諭	神尾健太郎	秋田南高校教諭
教　諭	西村航平	秋田北高校教諭
教　諭	伊藤愛梨	本荘高校教諭
主幹(兼)事務長	佐藤恵美子	角館高校主幹(兼)事務長
主　事	小田島信博	総合教育センター主事
技能主任	川越　治	秋田明徳館高校技能主任
臨時講師	奥山陽子	秋田工業高校
臨時講師	富樫渓太	能代工業高校
非常勤講師	小田嶋博	
非常勤講師	水澤優香	秋田北高校

昇任		
事務長補佐	奥山淳子	秋田高校主査

秋高祭(6/30～7/1) ホームカミングデーを開催

6月30日～7月1日の秋高祭に併せて、ホームカミングデーを開催します。

卒業以来母校を訪れることがなかった同窓生も多いかと思います。この機会に、校舎や生徒の活動の様子を是非ご覧になっていただきたいと思います。

校史資料館（同窓会館）では、同窓会事業の紹介や記念誌などの公開のほか、同窓会が所蔵する懐かしい映像の上映なども予定しています。また、母校の教育振興を支援するため、同窓会記念グッズも販売します。詳しい内容や上映時間については同窓会ホームページでお知らせいたします。

（企画委員長　佐藤悦紹）

Essay エッセイ

睡眠の都市伝説を斬る

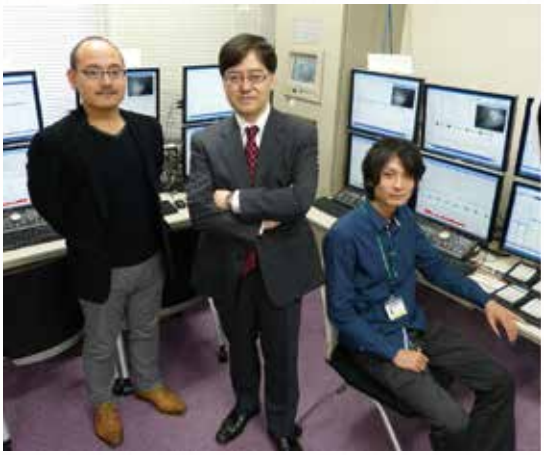
国立精神・神経医療研究センター研究所
睡眠・覚醒障害研究部　部長
三島 和夫（昭和56卒）

みしま・かずお／昭和56卒。秋田大学医学部卒業後、同精神科学講座助教授、バージニア大学、スタンフォード大学医学部客員准教授を経て2006年より現職。日本睡眠学会理事、社会保障審議会専門委員、JAXA宇宙医学研究シナリオワーキンググループ委員、睡眠障害に関する厚生労働省研究班の主任研究者などを歴任。東京都小平市住。

このエッセイのタイトルは、私がある雑誌で執筆している連載コラムのタイトルである。2週に一度、睡眠や体内時計のメカニズム、睡眠障害など様々なテーマについて執筆し、すでに90数回を数える。繁忙期には締め切りに追われて自身が睡眠障害になりそうだが、「好評ですよ！」という編集者のおだてにコロッと乗せられて、気づけば4年も続けている。この春から読売新聞オンライン版等の連載も安請け合いしてしまい、自分で自分の首を絞める羽目になった。

昭和62年に秋田大学を卒業して精神科医となり、大学病院に長らく勤めて人並みに昇進もし、そのまま奉職するつもりであったが、「睡眠」好きが高じて40歳の声を聞いてから東京にある国立の研究機関にトラバーユすることになった。新築間もない自宅とローンと妻子を残して単身上京したのだから随分と無茶をしたものだ。「頑張ってね～」と快く送り出してくれた家族には感謝している。

いずれも研究室にてスタッフと



「睡眠研究を始めたきっかけは何ですか？」とよく問われるが、大仰な理由はない。大学卒業後に最初に師事した教授が睡眠医学の重鎮で、80歳を超えた今なお睡眠一徹である。当時の秋田大学には恩師を慕って多くの研究者が集まっており実に恵まれた環境であった。門前の小僧も自然に経を読むようになった。

私が勤務する国立精神・神経医療研究センターは厚生労働省とのつながりが深く、精神疾患、神経疾患、発達障害の高度専門医療を行っている。私の研究室は睡眠障害の病因研究から、診断治療法の開発、新薬治験、国の疫学調査、さまざまな企業やメディアと協働した社会実装まで手がけており、仕事の幅はかなり広い。スタッフにも恵まれ、睡眠障害研究では国内外でも第一線を走っていると自負している。

それにしても睡眠障害で悩む人のなんと多いことか。睡眠障害には不眠症、睡眠時無呼吸症候群、睡眠リズム障害など100種類近くあり、子どもから高齢者までどの年代にもかかりやすい病気がある。そのため、一生の間に睡眠障害と全く無縁でいられる人はほとんどいない。残念ながら国内には睡眠障害の専門医が少なく、私の睡眠障害外来にはネットの記事や書籍を見たという患者さんが全国から受診してくる。

よく知られているように日本人の睡眠時間は世界でも突出して短く、昨年は「睡眠負債」が流行語にもなった。夜勤や夜型生活、社会的時差ぼけなど現代生活にはさまざまな睡眠問題が潜んでいる。昨今の働き方改革とも関連してワークライフバランスを見つめ直す動きがあるが、十分な休養（睡眠）があってこそ活力ある生活を送ることができるのだと改めて訴えたい。

日本では寝食を惜しんで仕事をするのが美徳だとする風潮があるが、脳科学的には非効率極まりない。創造性の高い思考やしっかりとした記憶の定着には質の高い睡眠が必須であることが科学的に証明されている。英語圏では一晩じっくり考えることを「Sleep on it」と表現する。言い得て妙ではないか。

ZOOM UP!

おおとも・しゅん／1964年秋田市生まれ。東京外国語大学卒業後、東京のソフトウェアベンダーで仮名漢字変換システムの開発に従事。1995年秋田に戻り、事務系システム・OA機器システム・医療系システムの開発に携わる。2017年に退社し、2018年1月に古書・新刊書を扱う書店「乃帆書房」を秋田市大町に開業。

技術者と書店主の間には

大友 俊（昭和58卒）

年の初めに秋田市内に書店を開業しました。新刊と古書を同列に扱い、新刊の方は、普通は注文しなければならないような本を中心とした品ぞろえになっているため、「マニアック」「よくまぁ」という評価をいただくことがあります。

経歴についても「よくまぁ」と言われます。昨年の秋まではIT技術者でした。そこから書店開業、というのは意外な経路に見えるようですが、聞かれるたびに「……と言われても」と首をひねっています。

乱暴に言ってしまえば、「私が本を読むIT技術者であった」ということになってしまうのですが、実は、IT技術者はかなり「本」を読みます。書店で売っている本か、別の技術者が作ったワープロ文書かの違いはあるにしても、多くの情報を頭に入れ、必要に応じて参照しながらシステムを組み上げていくため、「読むのが苦手」では仕事になりません。だからと言って、IT業界から書店を開業する人が多いわけではないので、「私が本を読む……」では答えにならないのですが。

システム開発の作業は「文筆業」だと思っています。会計処理を作るにしろ、画像処理を作るにしろ、一つの機能を実現するのに人それぞれの考え方があって表現方法も千差万別、第三者のチェックを受けて修正するのも同じ。プログラムをじっくり見ると作成者の哲学や人となりまで見えてきます。逆に、プログラムと普段の言動の差に驚くこともありますが、これも、作家と作品の関係に似ています。

と、IT技術者と書店主の間には、飛び越えなければならないような溝はない、というところに戻ってきてしまいました。

当店の本の並び方も似ています。大まかなジャンル分けはありますが、その中には溝はない、という考えで細かく分けてはいません。そのため、「なんでこの本とこの本が同じ棚にあるの?」と感じられることもあるかもしれません。そういう予想外の出会いを楽しんでいただきたいと思っています。

秋田の酒造り

冨岡 浩子（平成17卒）

高校生のころ、友人たちと楽しく過ごした思い出とともに私の胸によみがえるのは、進路について大変悩んだ日々です。将来何をやりたいのか決められず、それでもとにかく秋田からは出たい、というような学生でした。高校3年生のときの恩師はそんな私の話を真剣に聞いてくださいました。その後、東京の大学に進み、様々な人々と出会い、はじめて外から秋田を見ました。たくさんの人に秋田を褒めてもらう機会があり、大変驚きました。息苦しさばかり感じていたふるさとの風景が、なんだか前よりもずっと美しく豊かに見えるようになりました。

就職活動をするころには、秋田に帰って仕事がしたいという気持ちが芽生えていました。就職活動をしていく中で、秋田の伝統産業である酒造りに興味を持ち、幸いにも現在働いている会社に入社することができました。私が働いている蔵には通年雇用の社員のほかに、普段は農家や大工さんで、冬だけ酒造りのために来てくれる季節蔵人の方々がいらっしゃいます。山内杜氏とよばれる秋田の伝統的な酒造り技術をもった方々です。私自身もその伝統技術を受け継ぎたいと思い日々学んでいます。

秋、季節蔵人がやってきて、蔵は賑やかになります。実ったお米を使って、冬の寒さの中ゆっくりと酒を醸します。厳しい寒さは体にこたえますが、おいしいお酒を造るために蔵人は毎日真摯に仕事をします。雪が溶け、あたたかい春が来ると蔵人は帰って行き、田に新しい苗を植えます。夏の間、蔵では次の酒造りの準備が行われます。そしてまた実りの秋がやってくるのです。

秋田の自然と四季の流れの中で酒造りは行われます。こうして造られる秋田のお酒を日本だけでなく世界の方々にも飲んでいただきたいと思っています。秋田のお酒を飲んだ方々に幸せな気持ちになっていただけるよう、おいしい酒造りに邁進していきたいと思っています。

とみおか・ひろこ／秋田市生まれ。日本女子大学理学部卒業後、清酒「高清水」醸造元の秋田酒類製造株式会社製造部に勤務。現在、同社仙人蔵副杜氏。1級酒造技能士。2017年、山内杜氏試験に女性で初めて合格。

あの頃の思い出 ▸2◂

駅前校舎最後の卒業生

教室の板剥がし、薪に

関 徹彌（74）＝昭和37卒同期会事務局長

わが昭和37卒は、3年のときに前回の秋田国体があった年次で剣道部が見事準優勝したが、「駅前校舎最後の卒業生」と言った方が分かりやすいだろう。

駅前校舎であるから秋田駅や駅前繁華街には徒歩数分。丸丹へのパンの買い出しや食堂での昼食。金萬や鎌田の酒饅頭（まんじゅう）、その途中には喫茶店もあった。図書館代わりに利用した日米文化会館はほぼ隣接していたし、その隣には映画館もあった。とにかく何をするにも便利だった。

木造2階建てだった駅前校舎。
（左の写真ともに卒業アルバムより）

卒業式だけ手形の新校舎で

卒業式だけは未完成の手形校舎で行われた。しかし、それは入学時から「新校舎建設協力金」なるものを3年間納付させられていたことへの義理で全くの茶番、と私たちには映った。卒業式に間に合うように、卒業生が列を組んで自分の椅子を手形校舎まで運んだということもあった。

3年になったころには、「どうせ解体されるだろう」ということから、教室の腰板はどんどん剥がされ、薪代わりになった。隣のクラスでも同じことをするものだから、あちこちに「のぞき窓」があった。試験のときには監視の先生が隣室をのぞき、「誰がカンニングしているかよく見える」などと言って笑わせていた（ちなみにストーブ用の薪は1校時当たり3本と決められており、毎朝当番の者が当日の時間数分の薪を薪置き場からクラスまで運ぶのが日課だった）。

縦に長い体育館は、横幅はバスケのコート幅ぎりぎりだった。その体育館ではバスケ部のほかに、卓球部、バトミントン部、レスリング部、空手部、ボート部、体操部がひしめき合い、それでも大したトラブルもなく練習に励み、各部ともそれなりの成績を収めていた。

体育館の床は長年使用された証しか、節の部分だけが浮き上がっており、

せき・てつや／昭和18年7月秋田市生まれ。37年秋田高校卒業後、県内社会保険事務所や県庁に勤務。県国民年金課監察官で退職後、平成12年に社会保険労務士・行政書士事務所を開設。秋田魁新報に毎週火曜日、「暮らしの中の年金・健保」を2年間連載（計100回）。ABSラジオでも「花咲け！ネンリン倶楽部」で4年間解説。16年に秋田年金実務研究会を開設、主宰。25年には「地域力フォーラムinあきた」の立ち上げに参画、実行委員長。著書に「暮らしの中の年金・健保」（秋田協同書籍）。

医療法人清心堂
湊小児科医院
理事長　医学博士
湊　元志（昭和55年卒）
TEL.018-834-5621
秋田市中通5丁目7－34

冷暖房・空気調和・換気・給排水
衛生設備設の設計・施工
羽後設備株式会社
代表取締役社長
佐藤 裕之（昭和55年卒）
〒010-0917
秋田県秋田市泉中央二丁目2番29号
TEL 018-863-0202
FAX 018-863-0205

うまい酒 千代緑（チヨミドリ）
有限会社 奥田酒造店
奥田重徳（昭和55年卒）
秋田県大仙市協和境字境113番地
電話：018-892-3001

GALA AMANO
代表取締役 天野洋介（昭和55年卒）
〒010-0944 秋田市川尻若葉町1-33マエタビル3F
TEL:018-883-1102　FAX:018-883-1103

卓球などで他校から練習試合に来ると、決まってつまずいたりつんのめったりした。体操部は練習の一環として北側校舎の廊下でジャンプやダッシュをしたが、床によく穴があき怖かったという。

天井裏にこっそり隠れ部室

顕著な例を挙げよう。私は地学部だったが、その部室は天体観測用のバルコニーに通ずる通路と急傾斜の階段と1坪ほどの踊り場のみ。とにかく狭かった。部員の中にもう少し広い部屋がほしいと思った者がいたのだろう。階段には傾斜に沿って繊維壁の天井板が平行していたが、その天井板を1枚剥がしてみた者がいたのである。ぽっかり空いた対岸は広大なる暗黒の空間(天井裏)。そこに数本の樽木を渡し、柔道部から使い古しの畳を何枚か調達してきてその空間に敷き、頭上には踊り場から電球を引いた。

ベルは鳴った。靴をはきかえるのももどかしく

かくして隠れ部室が誕生。その隠れ部室の斜め下は理科の教官室だったが、繊維壁の天井を通してその部屋の様子は丸見え。毎日最後の先生が退室し施錠してからが隠れ部室の利用時間だった。

しかしそこは秋高生。飲酒やマージャンはしなかったが、トランプや読書はよくした。どんな本を読んだか。それはご想像のとおり。集まってくる本もその手のものが多かった。

中には屋根裏を這い回り、共学クラスの授業を上から観察する者もいた(当時は女子生徒は少なく、共学クラスは羨望(せんぼう)の的だった)。その者が今や…。

まさか、南高の仮校舎とは…

後日談であるが、その解体されるはずであったボロ校舎が、新設の秋田南高校の第1期生の仮校舎として使用されたという。秋田南高校の沿革には「秋田高校旧校舎を仮校舎とし昭和37年4月より開校決定。昭和37年12月普通教室竣工、仮校舎から移転」とある。南校1期生はどんな思いで8カ月間あの校舎で学んだのだろう。初めから知っていれば、もっと大切に取り扱っていたであろうに。

校舎の変遷

新築落成した太平学校(明治7年)

西根小屋校舎(明治16年〜昭和11年)

手形新校舎(昭和11年〜20年)

駅前校舎(昭和23年〜37年春)

手形中台校舎(昭和37年春〜60年)
※落成記念式典は36年12月に挙行

現校舎(昭和61年〜)

守る、つくる、支える
猿田興業
代表取締役会長
猿田 五知夫(昭和51年卒)
代表取締役社長
猿田 知久(昭和55年卒)
猿田興業株式会社
〒010-0951 秋田市山王6丁目1番13号
山王プレスビル6F

建設コンサルタント・
補償コンサルタント・測量・GIS
株式会社眞宮技術
代表取締役社長
眞宮 昌(昭和55年卒)
〒010-0918 秋田市泉南二丁目1-10
TEL:018−866−3062
FAX:018−863−4223
http://www.tec-mamiya.co.jp/

おのば高橋小児科クリニック
院長
高橋 康(昭和55年卒)
●小児科 ●アレルギー科
TEL.018-892-6600
秋田市仁井田字中新田78

SHIMIZU DENTAL CLINIC
医療法人
清水歯科医院
理事長 清水 隆夫
(昭和55年卒)
〒0100341男鹿市船越本町1-29
TEL 0185-35-3737
FAX 0185-35-3080
URL http://www.shimizu-dc.net

歓談尽きることなく

首都圏昭和30年会

首都圏に50年ぶりの大雪が心配された1月24日、何とか無事新年会を開催することができました。

遠路徳島県鳴門市から畑江暢雄兄、仙台市から新田目倖造兄、初参加の佐藤博通兄などの懐かしい顔を交えて、賛助参加のあげまき会会員3人を含め24人が集いました。

物故者への黙祷、松沢研二会長挨拶（代読）に始まり、最多参加の「30会」マドンナ鈴木妙子さんの音頭で乾杯。会場はあちこちで「やあ!!やあ!!」と一挙に懇親会モードに突入。その後、初参加の佐藤さん、久々に参加の各位、遠方からの畑江、新田目のお二方からスピーチをいただき、思い出話に大いに盛り上がり、はるか昔を懐かしみました。話は尽きることなく2時間余り歓談の後、米塚正治兄の尺八による「秋田民謡」の数々にうっとり。「故郷」の合唱、元応援団長の畑江兄のリードで校歌「天上はるかに」を斉唱。名残尽きない宴を後ろ髪引かれる思いで終了しました。

次回はお互いの高齢に配慮しつつ早期の開催を託されました。（幹事・佐藤 正彦 記）

飛躍の年へと願いを込めて

秋艇会（ボート部OB会）

2月17日、秋艇会総会及び懇親会を昨年に続き秋田市の第一会館本館で開催した。参加者は27人。総会では池田重秀氏（昭和44卒）の挨拶と松村浩氏（昭和45卒）による会計報告があった。その後、佐藤康氏（昭和45卒）の名司会による懇親会へと移り、現役部員14人による自己紹介や新入生歓迎用PV動画がスクリーンで披露された。部員の活き活きとした表情、艇の疾走感が参加者を魅了していた。選手からOBへの質疑応答もあり、短時間ながら密度の濃い交流となった。

総会後半ではそれぞれに昔話が弾み、最後は加藤正己氏（昭和56卒）によって「選手に加えボートの大会運営もバックアップしていこう」とのメッセージのもとOBが思いを一つにし、盛会のうちに散会した。（顧問・坂本 公正＝平成6卒 記）

25回!! 節目の同期会開催

昭和46年卒同期会

1月3日午後5時45分から、アキタパークホテルを会場に34人が参加し、昭和46卒の同期会を開催した。恩師の先生方にもご案内を差し上げたもののご出席いただけず、当会では初めて恩師の出席のない同期会となった。

最初に記念写真撮影に臨み、幹事長の菊地隆君の挨拶、県副知事の堀井啓一君の乾杯の発声で祝宴がスタート。出席者全員から近況報告をしてもらった。

定年退職後に異業種に参入したり、世界を商圏として新たに起業した同期生もいて、前期高齢者の仲間入りをした我々ではあるが、まだまだ“現役”世代の感を強く意識した。

当会は1年半ごとに同期会を開催しており、今回で25回目。次回は平成31年夏の開催を予定している。また、毎月第3土曜日午後6時からJR秋田駅前の「からす森」で、月例ミニ同期会を行っているので、都合のつく方は参加していただきたい。（幹事・堀井 深芳 記）

文武両道、現役生徒に感銘

横手平鹿支部

2月20日、横手市の松輿会館にて、三浦廣巳同窓会副会長、安田浩幸校長のご出席をいただき、横手・平鹿支部の総会が行われた。安田校長には、秋田高校が直面している課題についてお話をいただいた。以前に比べ半数ほどの生徒数でも、文武両道を貫いている話に皆、感銘していた。続いて行われた懇親会では、三浦副会長に同窓会の活動についてお話をいただいた。例年は全員のスピーチがあるが、今回は出席者が多く“代表スピーチ“となり、それでも”飲み放題プラン”が終わっても、旧交を深める姿があった。

（幹事・曽根 純之＝昭和54卒 記）

❷原稿の最後に執筆者名（支部等にあっては卒業年次も）をお忘れなく。
❸投稿いただいた原稿、写真はお返ししません。どうぞご了承ください。〈広報委員会〉

支部長交代ご苦労様でした

仙台支部

昨年11月17日、仙台支部総会をハーネル仙台で開催した。総会には40人の会員が参加し、同窓会から三浦廣巳副会長、越中谷孝一名簿委員長、母校から安田浩幸校長が出席された。三浦副会長から同窓会の近況について、安田校長からは最近の進学状況、全県・東北・全国大会での運動部、文化部の活躍が報告された。

平成20年に支部活動を復活させてから、10年間支部長として先頭に立ってこられた相澤雄一郎支部長（昭和28卒）が退任し、副支部長の新田目倖造氏（昭和30卒）が後任として了承された。岩崎俊一顧問（昭和19卒、仙台市名誉市民、東北工業大名誉理事長）の乾杯で懇親会に入った。

昨年10月の衆議院選挙で立憲民主党から見事当選された岡本章子氏（昭和55年入学）が東京から駆けつけ、初登院の様子を報告されるなど大いに盛り上がり、最後は校歌を5番まで斉唱して散会した。

（支部長・新田目 倖造＝昭和30卒 記）

世代を超えて集う

追分三叉路会（追分支部）

昨年11月5日、潟上市追分自治会館を会場に19人が参加して追分三叉路会総会を開催しました。

同窓会から柏木事務局長、母校から安田校長にご出席いただきました。

総会後に行われた文化講演会の講師は当支部会員でもある医師の稲庭千弥子さん（昭和47卒）で、今村病院理事長としても活躍されている立場から1時間近くお話をしていただきました。医療従事者だけでなく行政を含めた社会的な対応が求められていることを熱く語られました。

幅広い世代が集まるようになってきた追分三叉路会、今後が大いに楽しみです。（幹事長・藤原 正三＝昭和46卒 記）

クラデコ上映で懐かしむ

昭和49年卒同期会

1月6日、秋田キャッスルホテルに恩師の三船新次・小野寺清両先生を含め57人が集い、還暦同期会から2年半ぶりの同期会を盛大に開催しました。

今回は特別企画として、山口武秀さんが保管していた秋高祭クラスデコレーションで3C制作の8ミリビデオを上映し、当時の授業風景、恩師・生徒の姿が懐かしく思い出されました。初参加や久しぶりの参加者からの近況報告、「今打ち込んでいること、今大切にしていること」のテーマで募集したメッセージ集の紹介もあり、昨年秋の褒章で藍綬褒章を受章された県酒造組合の小玉真一郎会長からご提供の純米大吟醸「太平山・天巧50」を美味しくいただきながら、とても楽しく歓談できました。

元応援団の荘司裕さんが還暦の時に準備した赤い学生服姿で登場し校歌斉唱・エールで大いに盛り上がったところで、伊藤成年さんから母校秋田高校の校長時代のことなど感謝の言葉があり、佐野元彦同窓会副会長の音頭で中締め。半数以上がホテルの2次会でさらに旧交を温め、次回の再会を誓って散会しました。（佐藤 悦紹 記）

現役のバックアップ誓う

応援団OB会・紫紺の会

昨年12月9日、秋田市の協働大町ビルを会場に、安田浩幸校長先生・松岡正樹顧問を含む12人が参加し忘年会を開催しました。

母校創立100周年の年に甲子園での応援を経験した荘司裕さん（昭和49卒）が宮城県から初参加、当時の応援やスクールライフを語ってくれました。

前年に続き10月に行った秋高音頭伝承会など、現役応援委員との交流に参加した会員からは慢性的な人員不足を危惧する声が上がりました。少人数で頑張っている現役生徒を今年もバックアップしていくことを誓い合い、お開きの後は夜の街に繰り出しました。（事務局・保坂 尚吾＝昭和55卒 記）

「つどい」投稿について

❶「つどい」欄への投稿は毎回多数にのぼるため、スペースの制約からやむを得ず原稿を短縮したり、次号に回すことがあります。ご容赦ください。

卒業から20年の再会

平成10年卒同期会

1月2日、秋田ビューホテルにおいて卒業20周年記念同期会を開催した。総勢73人と少ない参加者であったが、安藤巳智子先生をはじめ6人の恩師のご出席をいただき大変盛会で、旧交を温め合う良い機会となった。

恩師の先生方、淡路陽介君と鈴木（旧姓・金岡）千尋さんからの近況報告。そして同期で結婚した3組のカップル（大場、寺門、伊藤の各夫妻）からおめでたい話をしていただいた。サプライズ企画として、私たちの学年の入学式･3大行事･卒業式の映像を上映。高校時代にタイムスリップして思い出話に花が咲き、楽しく歓談することができた。

最後は、吉田和人君の校歌斉唱とエール、参議院議員の中泉松司君の中締めでお開き。今回の参加者はもちろんのこと参加できなかった同期の皆さん、次の機会は楽しい時間を共有しよう。

（長谷部　亮 記）

卒後10年に115人集結

平成20年卒同期会

1月2日秋田ビューホテルにて、卒業10周年記念同期会を開催しました。7人の恩師をお迎えし、全国各地から総勢115人が集結しました。

学年主任の佐賀薫先生のご挨拶を聞きながら、まるで高校時代にタイムスリップしたかのような錯覚を覚え、当日のくじ引きで大抜擢された高橋修平君の完璧な乾杯発声で会がスタートしました。

今回は遠く秋田を離れても、秋田のことを忘れないでもらいたいということで「秋田の名物大抽選会」を企画しました。大先輩の菓子舗榮太楼の小國輝也社長から熱いメッセージと共にご提供いただいたお菓子をはじめ、様々な商品をお持ち帰りいただきました。

会場のあちこちで歓談する姿が見られ、1次会の後もクラスや友人単位で夜遅くまで盛り上がっていたようです。次は5年後の15周年記念同期会、今から楽しみです。今回参加がかなわなかった皆さん、5年後はぜひ楽しみましょう!

（渡部　健 記）

雪の舞う中、深めた同窓の絆

津軽支部

昨年12月3日、「飲食　芝田商店」にて津軽支部総会・懇親会を開催いたしました。五所川原市、八戸市など、青森県全域から出席していただく年もある中で今回は初参加の4人を含めて、弘前市内からの17人となりました。

最近では、年1度の総会・懇親会と、時々休みながらの支部会報の発行を通した交流以外にはこれと言った活動はできずにおりますが、それでも幅広い年代や立場の同窓生が和気あいあいと語らうのが津軽支部です。

一族の会合のように見える写真には、前年度に秋高を卒業されたばかりの方から傘寿を迎えようという大先輩まで、また大学入学や転勤でこちらに来られたばかりの方もいれば、秋田を離れて何十年もこの土地で活躍されている方もおります。

役員の承認や庶務報告など総会の部をいつも通り手際よく(?)終わらせ、早々と本題(！)の懇親会に入りました。全員の自己紹介で、秋田駅近くに校舎があった頃のこと、手形山のカモシカやクマの話、最近の部活動の活躍などの話題が出ると、話が脇道にどんどんそれつつも、高校時代を懐かしんだり、自分の知らない秋高の姿に驚いたり、胸を躍らせたりいたしました。最後は校歌斉唱で締め、別れを惜しみつつ再会を約束して閉会しました。

（幹事･成田 明子＝昭和60卒 記）

卒業25年目に集う

平成5年卒同期会

1月2日、秋田キャッスルホテルにて、平成5年卒業生の卒業25周年同期会を開催いたしました。5年ぶりの同期会でありましたが、当日は3人の恩師にもお越しいただき、総勢90人超の盛会で終えられたことをまずもって感謝いたします。会は大山結輝君の司会で、五ノ井浩二君の挨拶に続き、齊藤英知君の乾杯で幕を開け、久しぶりの再会に皆、高校で過ごした3年間の思い出など和気あいあいと語りあい、あっという間に時間が過ぎ、田崎聡君のリードによる校歌斉唱をもって閉会となりました。改めて同期の絆を深めることができたと感じました。

これを機にさらに交流の輪が広がるとともに、次回の同期会もより盛大に開催されることを期待しております。

（金岡 直人 記）

平成30年度
年会費納入のお願い

会員の皆さまには日頃から同窓会活動に深いご理解とご協力を賜り、心より厚くお礼申し上げます。

さて、秋田高校同窓会の運営は、その財政基盤のほとんどを会員の皆さまの年会費に依存しております。円滑な同窓会活動を推進するため、平成30年度の年会費納入にご協力を賜りますようお願い申し上げます。同封の払込取扱用紙で郵便局またはコンビニで納入くださるようお願いいたします。

また財政委員会では現在、会費の口座自動振替を進めています。納入手続きの煩わしさを解消し、〝うっかり忘れ〟を防止するとともに経費節減を図るためです。

口座自動振替をご希望の会員は払込取扱用紙にある金融機関名（秋田銀行、北都銀行、みずほ銀行、ゆうちょ銀行）を選び、所定の欄にご記入のうえ同窓会事務局にお申し込みください。その際、今年度分の年会費はコンビニではなく、最寄りの郵便局からお振り込みいただくようお願い申し上げます。

年会費に関する取り決めは以下のとおりです。

1. 年会費は会員1人当たり2,000円とする。
2. 年会費の請求は単年度のみとし、過年度分は請求しない。
3. 母校卒業後4年間は年会費の納入を免除する。

（財政委員会）

哀悼

謹んでご冥福をお祈り申し上げます

敬称は省略させていただきました

平成25年
- 12月 沢田 功（昭35）
- 2月 川村 厚（昭32）
- 3月 近 晴雄（昭31）
- 村山 稔（昭39）

平成26年
- 8月 仁平富士雄（昭44）
- 11月 村井 薫（昭26）

平成27年
- 2月 本間 正士（昭36）
- 川村 滋（昭39）
- 5月 澤畑 宏（昭22）
- 6月 滝戸 鶴吉（昭17）
- 8月 小原 粛（昭18）
- 10月 那須紀代司（昭36定）
- 佐藤 智信（昭28）
- 11月 佐々木長雄（昭27）
- 12月 佐藤 智也（昭32）
- 工藤 茂男（昭27）

平成28年
- 8月 佐藤 誠治（昭20④）
- 北村 耕嗣（昭31）
- 村田 弘（昭26）
- 長谷川 侃（昭34）
- 9月 有賀 理（昭46）
- 佐藤 文雄（昭23）
- 鎌田 茂雄（昭26）
- 芳賀 士郎（昭26）
- 川邉 紀雄（昭34）
- 10月 阿部 義郎（昭25）
- 斎藤 寿臣（昭32）
- 新田目 隆（昭17）
- 佐々木市右ヱ門（昭29）
- 三浦隆之助（昭18）
- 佐藤善五郎（昭36）
- 片村義太郎（昭35）
- 庄司 達也（平3）
- 伊藤 剛（昭21）
- 11月 佐藤 真衣（平20）
- 小野崎孝輔（昭25）
- 石黒 茂雄（昭28）
- 秋山 秀昭（昭39）
- 三浦 廣悦（昭46）
- 伊藤 一男（昭27）
- 阿部 弘文（昭35定）
- 京極 元（昭31）
- 山田 実（昭42）
- 有明 滋夫（昭43）
- 須藤 新一（昭23）
- 藤澤 繁（昭35）
- 田口 剛生（昭32）
- 藤本 弘（昭23）
- 鈴木 謙次（昭20④）
- 石黒 周治（昭27定）
- 榊 虔一（昭19）
- 工藤 繁一（昭29定）
- 小林 靖八（昭34）

平成29年
- 1月 大野 啓治（昭44）
- 吉川 武弘（昭23）
- 2月 小林 完伸（昭52）
- 3月 賀川 博（昭20⑤）
- 鈴木 昭一（昭19）
- 4月 伊藤 洋一（昭26）
- 石田 正（昭11）
- 齋藤 謙治（昭35）
- 斎藤 厳夫（昭22）
- 5月 前田 元一（昭34）
- 坂崎 成尚（昭27）
- 伊藤 睦（昭31）
- 6月 水澤 清隆（昭42通）
- 成見 利夫（昭31）
- 穂積 榮典（昭16）
- 7月 竹田 征子（昭41通）
- 園部 俊雄（昭17）

平成30年
- 1月 菊谷 高（昭16）
- 鎌田 哲雄（昭31定）
- 奥田 繁治（昭29）
- 星野 浩（昭28）
- 山方 正勝（昭37）
- 竹内育太郎（昭20④）
- 小松 和男（昭44）
- 石井 直明（昭20④）
- 町田 睦（昭31）
- 2月 佐々木俊綱（昭26夜）
- 鎌田 洋悦（昭28）
- 和田伸一朗（昭25）
- 湊 潤二郎（昭23）
- 熊谷 宗雄（昭29）
- 山谷 浩二（昭20④）
- 山本 博英（昭35）
- 関 茂男（昭20④）
- 3月 武田 精一（昭22）
- 中嶋 洋文（昭43）
- 熊谷 一春（昭30定）
- 長野 伸一（昭25）
- 武藤 哲夫（昭42）
- 佐藤 英俊（昭37）
- 12月 杉山 裕一（昭34）
- 千葉 康晃（昭36）
- 進藤 和夫（昭25）
- 佐藤 榮治（昭31）
- 山下 衛（昭33）
- 青山 鈞（昭34）
- 石川 俊平（昭25夜）
- 渡辺 吉雄（昭33）
- 南雲昭三郎（昭20⑤）
- 加賀屋文雄（昭24夜）
- 遠藤 信郎（昭33）
- 菅原 英夫（昭44）
- 加藤 純三（昭25）
- 本田 博文（昭60）

注（昭20④）は旧制中学を4年で卒業、（昭20⑤）は5年で卒業したことを表す

訂正とお詫び

本誌前号（102号）で哀悼欄に掲載した平成28年11月の「菅藤哲」氏（昭和58卒）は、「菅藤啓」氏（昭和50卒）の誤りでした。菅藤哲様には多大なご迷惑をおかけいたしました。訂正してお詫び申し上げます。

あきたレディースクリニック安田
院長 安田 師仁（平成2年卒）
事務長 安田 奈美子（平成2年卒）
秋田市土崎港中央5丁目3-37 TEL：018-857-4055

医療法人 柔心会
男鹿整形外科
介護老人保健施設 たらちね
ショートステイ たらちね
理事長 鎌田 玄徳（平成2年卒）
〒010-0341 男鹿市船越字一向67-180
TEL 0185-22-6660 FAX 0185-22-6659

理想の小説

3年　小川 敢多

最近、ある本に強い影響を受けました。

松本清張作「砂の器」という本です。

この本は小学生の時に途中まで読んで以来、書棚にしまったままになっていました。

ところが、高2の夏、おもむろに手を伸ばしてみると、読みふけり、感動と問題意識を同時にもたらす文体に尊敬の念を覚えました。

そこで書いたのが「ベスト・パートナー」という小説です。これはAIにより「ベストパートナー」を見つけ、結婚した夫婦が不慮の事故に見舞われ、障害を負いながらも、それを乗り越えて、自分たちで幸せを掴み取るという内容で、しぶとく残る人間像というのを提示してみました。

そして、ノースアジア大学文学賞に応募し、柴田翔特別賞をいただきました。

ですが、審査員の柴田翔さんや読者の何人かに「感動した」といってもらえたのが、何よりも嬉しかったです。

この力が蓄えられたのも、高校入学後、授業や文芸部活動を通し、思考し、意見を表現する訓練を重ねたからだと思います。

自分の表現に納得できず、何度も書き直すことや行き詰まることがありますが、誰かに影響を与えられる小説を目指して書き続けていきます。

ノースアジア大学文学賞・柴田翔特別賞を受賞した小川敢多さん

科学を通じて世界と繋がる

3年　東海林 紬

昨年夏にマレーシアで開催されたアジアサイエンスキャンプ（ASC）2017に参加した。ASCにはアジアを中心に31か国から高校生・大学生が集まり、ノーベル賞受賞者らによる講演を聞いたり、ポスタープレゼンテーションを行ったりした。

プログラムは全て英語で行われ、日頃異なる言語を話している参加者たちが英語で意思疎通できることに改めて感動を覚えるとともに、科学を追究するためには知識だけでなく、共通言語で表現・議論することが重要であることを痛感した。各国からの参加者とは文化について、講演やASCのプログラム、将来についてなど実に多くのことを語り合うことができた。皆が高い志を持っており、異なる視点からの率直な感想やアドバイスを聞けたことは非常に有意義であった。

今回のプログラムを通して、学問や研究を自分のものとできるだけの力量と広い分野において常に新しいものを追い求める柔軟性を身につけることが私の目標となった。いつかASCの仲間と再会する際までに自分の知識を増やし、表現力や考察力を高めて、さらに深い議論ができるようになろうと心に決めている。

キャンプ中の遠足で訪れた浚渫（しゅんせつ）機

誰もが気軽に始められる社会活動
おかげさまで10周年
SiNG 代表
武内伸文
（平成2年卒）
［わらしべはうす］
〒010-0921
秋田市保戸野通町 5-11
www.singjapan.com
facebook●わらしべ貯金箱

山王整形外科医院
湊 昭策
（昭和36年卒）
湊 貴至
（平成2年卒）
〒010-0955
秋田市山王中島町15-18
TEL 018-864-1100

加藤法律事務所
弁護士
加藤 謙
（平成2年卒）
〒010-0946 秋田市川尻総社町6番3号
TEL 018-823-5271
FAX 018-864-0755

株式会社 ゼロニウム
代表取締役社長
伊藤茂之
（平成2年卒）
VR/MR/AR
3DCG
プロジェクションマッピング
〒010-0951
秋田市山王5-12-29シバタビル1F
☎ 018-874-8022
✉ works@zeronium.com

タイ　リポート

2年　伊藤　優

私たち生徒6人と先生2人は、海外国際交流事業で今年3月21日から25日までタイのバンコクに滞在しました。私たちのほとんどは海外渡航が初めてで、今回の海外研修は大変新鮮で刺激的なものになりました。

私がタイという異国の地で最初に驚いたのは、すさまじい熱気と空港職員のそっけない態度でした。先生が入国カードに何を書けばいいか英語で尋ねると、職員は怒ったような口調で「NO！NO！」と我々を追い払うようにしたのです。私は初めて「外国」というものを実感し、日本の素晴らしさを痛感しました。

世界遺産ワット・プラシーサンペットにて

ユネスコの世界遺産に登録されている「アユタヤ遺跡」の見学では、18世紀に当時のビルマの侵略で破壊された〝文明〟を目にして争いの恐ろしさを知り、同時に遺跡を後世に残そうと活動している地元の方々に感銘を受けました。

3日目は、海外研修の最大の目的である「キングモンクット工科大学トンブリー校」の学生との交流でした。日本を出発する前からタイの学生は英語が流暢だと聞いていましたが、私たちの想像をはるかに超える彼らの英語力には驚かされました。今後の私たちの英語学習の大きな参考になったと思います。また、彼らとは水上レストランでの食事、マングローブの植樹、タイの伝統的なお菓子づくりなどを一緒に体験し、かけがえのない思い出をつくることができました。

最終日には数多くの寺院をめぐり、タイの悠久の時の流れを感じることができました。4泊5日という短い日程でしたが、異国の文化に触れ、私たちは一回りも二回りも成長することができたように思います。この海外交流を支援していただいた秋田高校同窓会および関係者の方々に心から感謝いたします。

涅槃仏　ワット・ポー

キングモンクット工科大学トンブリー校の学生と食事を共にした水上レストラン

weblio
代表取締役（平成12年卒）
辻村 直也
Naoya Tsujimura
〒163-0646
東京都新宿区西新宿1-25-1
新宿センタービル46階
https://www.weblio-inc.jp

自分史
東日本全域でサービス展開中

絵本カンパニー
×
読売新聞社
コラボ
株式会社 私の絵本カンパニー
代表取締役　北林陽児（平成11年度卒業）
yoji@watashi-ehon.com

秋田 川口屋
お菓子を通して秋田を楽しむ。
取締役（平成12年卒）
川口 雅也
株式会社 川口屋
〒010-0921 秋田市大町1-6-20（通町）
TEL 018-862-4694 FAX 018-862-4744
【販売所】西武秋田店・秋田駅・秋田空港・あきた美彩館（品川）他

自家焙煎珈琲豆専門店
アラジン珈琲
株式会社 珈研舎
代表取締役
大島　靖
（平成12年卒）
山王店
秋田市川元山下町2−1
TEL 018-863-7333 FAX 018-863-7311
泉店
秋田市泉北2丁目4−17
TEL 018-863-5070 FAX 018-863-5076
URL http://www.aladdincoffee.co.jp

秋田高校同窓会だより vol.103
2018年5月13日
AKITA HIGH SCHOOL alumni association news

秋高NOW（ナウ）

全国へ初挑戦

卓球部（女子）

私たち卓球部は男女合わせて3年生4人、2年生8人と新入生で活動しています。

夏の総体でインターハイ出場を逃してしまった悔しさをばねに必死になって練習に励んだ努力が実り、11月末に行われた県新人戦では、女子が団体優勝、男子は団体準優勝することができました。

男女そろって出場した地元開催の東北選抜では、男子は惜しくも全国大会出場を逃してしまいましたが、女子は6位入賞を果たし、念願の全国選抜の出場権を獲得することができました。全国大会出場は秋高女子卓球部史上初ということで、今まで以上にチームの士気は高まり、3月末の全国選抜に臨みました。

しかし、これは私たちの最終目標である「夏の県総体で団体優勝、インターハイ出場」の通過点だと私たちは考えています。全国選抜では、自分たちの力がどれほど通用するのかを試し、他県の強豪校の技術を学ぶことで、夏の大会で最高の結果を残すための力をつけることができたと思います。先生や、コーチをはじめ、日頃からお世話になっている方々への感謝の気持ちを忘れず、いい結果をお届けすることができるようにこれからもチーム一丸となって1試合1試合戦っていきます。

〔3年　篠田 亜美〕

初の全国選抜出場を決めた女子部員たち

伝わっていく放送

放送委員会

生徒の学校生活をひそかに支え続ける委員会、それが秋田高校放送委員会です。私たちはアナウンス、朗読、ドラマ・ドキュメントの制作、学校行事や集会の運営など、多岐にわたる活動を行っています。その性質上さまざまな方とお話をしたり協力して活動をしたりすることが多く、皆さんの熱い想いや笑顔に励まされる日々です。

さて、私たちの活動の基盤にあるのは「伝える」ということです。誰かの頑張っている姿や身の回りで起きている問題が伝わり、感化されたその人がまた行動を起こす。その活動がまた誰かに伝わり広がって…。私たちはその原点になれればと考えています。新年度が始まり、また新たな目標や夢を掲げて努力を続けている方々もいらっしゃるでしょう。何かをしたい、知ってほしい、もっと良くしたい。その思いは私たち放送委員会が動きだす原動力となります。より良い学校生活と皆さんの夢を追いかける毎日の支えとして、これからも活動を続けていきたいと思います。皆さんのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

〔3年　大堤 聖香〕

秋田県放送コンクールでは5年連続で総合金賞を獲得

事務局通信

〝うぐいす坂〟にも春がやってきました。冬の間、雪に覆われていた自転車置き場にも生徒たちの足音が戻ってきました。往時のように所狭しと詰め込まれた自転車置き場ではなくて、自転車は整然と並べられております。

2月28日に同窓会入会式、翌日は卒業式で263人が巣立ってゆきました。4月6日の入学式で274人の新入生を迎え、在校生は822人となりました。充実した高校生活が送れるよう願っております。

（柏）

編集後記

「どんな人に執筆してもらおうか」――編集に当たって毎号、ここから頭をひねる。そして情報を集める度に驚かされる。何と多彩な同窓生が多方面で活躍していることか、と。そして「誰に」とまた、頭をひねる▼今号にご登場いただいた人たちも、実に洒脱な文章を綴ってくれた。読んでいて実に面白い。活字の重みを改めて教えてくれた皆さんに感謝、深謝。（風来坊）

発行者／秋田県立秋田高等学校同窓会　秋田市手形字中台1番地
電話 018－832－9553　FAX 018－832－9588
印　刷／秋田協同印刷株式会社